

地域包括ケア病棟 看護実践講座のご案内

平成26年度診療報酬改定において「地域包括ケア病棟」が新設されました。これからの医療提供体制の中で、急性期医療から在宅療養までを結ぶ線の要となるのが「地域包括ケア病棟」です。この病棟に求められている役割は、高度急性期等からの患者の受け入れは勿論のこと、在宅療養あるいは介護施設等に入所されている高齢者の急性疾患の患者を受け入れ、在宅復帰させていくことです。「地域包括ケア病棟」として、その機能を十分に発揮するためには、看護のレベルアップを図り、病棟機能に合わせた技術の確認と習得が必要です。各病院におかれましては、地域包括ケア病棟の運営に取り組み始めたところであると思いますが、当会では、今一番必要と思われる看護研修を企画いたしましたので、奮ってご参加くださいますようお願い致します。

地域包括ケア病棟協会

会長 仲井培雄

開催概要	
日程	平成26年8月2日(土) 9:20~16:40
会場	東京研修センター 東京都新宿区富久町11-5 シャトレ市ヶ谷2階
定員	看護職員 150名(先着順) ※1施設より原則3名まで。4名以上の参加希望は申込締切後に空席のある場合に受付いたしますのでご了承ください。
参加費	会員 8,000円(地域包括ケア病棟協会・日本慢性期医療協会・日本長期急性期病床研究会) (昼食込) 非会員 16,000円
申込締切	平成26年6月20日(金) *締切日前に定員に達した場合は、その時点で受付を終了いたします。
申込方法	参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。
後援	日本慢性期医療協会・日本長期急性期病床研究会
主催	地域包括ケア病棟協会 〒162-0067 東京都新宿区富久町11-5 シャトレ市ヶ谷2階(日本慢性期医療協会内) TEL: 03-3355-3120 FAX: 03-3355-3122 E-mail: info@jamcf.jp ホームページ http://jamcf.jp 日慢協ブログ http://manseiki.net/

プログラム（予定）

平成26年8月2日（土） 会場：東京研修センター

9:20～ 9:30	開会挨拶	仲井培雄	地域包括ケア病棟協会 会長
9:30～10:40	高齢者救急の実際	岡田保誠	公立昭和病院 救急部 部長
10:50～12:00	術後看護～整形外科術後を中心に～	川畠和美	芳殊記念病院 看護師 副主任
12:50～14:00	リハビリテーション看護	板越由香	世田谷記念病院 看護師長
14:10～15:20	在宅復帰に必要な地域連携	加藤公恵	永生会 在宅総合ケアセンター長
15:30～16:40	地域包括ケア病棟に必要な医療材料の紹介と説明		

*プログラム内容につきましては、若干変更になる場合があります。予めご了承ください。

参加申込書

本紙に必要な事項をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

申込先FAX：03-3355-3122

地域包括ケア病棟協会 事務局

申込締切：平成26年6月20日（金） 参加定員：看護職員 150名（先着順）

いずれかに○を付けてください。

<input type="checkbox"/>	地域包括ケア病棟協会 会員
<input type="checkbox"/>	日本慢性期医療協会 会員
<input type="checkbox"/>	日本長期急性期病床研究会 会員
<input type="checkbox"/>	上記の会員以外

貴施設名

所在地

(〒 -)

TEL.

FAX.

連絡担当者氏名

役職

※6月下旬頃、参加案内と参加費請求書を連絡担当者様宛にお送りいたします。

満席の場合は、お申し込み後3日以内に当会よりご連絡を差し上げます。

No.	(ふりがな) 受講者氏名	看護職経験年数	役職
1		年	
2		年	
3		年	

お申込みありがとうございます。